

第 3 回 館 山 市 議 会 定 例 会 会 議 録  
( 第 5 号 )



1 平成9年9月26日（金曜日）午前10時

1 館山市役所議場

1 出席議員 25名

|     |       |     |      |
|-----|-------|-----|------|
| 1番  | 辻田実   | 2番  | 本橋亮一 |
| 3番  | 三上英男  | 4番  | 小幡一宏 |
| 5番  | 忍足利彦  | 6番  | 鈴木順子 |
| 7番  | 斉藤実   | 8番  | 増田基彦 |
| 9番  | 島田保   | 10番 | 宮沢治海 |
| 11番 | 秋山光章  | 12番 | 植木馨  |
| 13番 | 脇田安保  | 14番 | 永井龍平 |
| 15番 | 山崎雅己  | 16番 | 鈴木忠夫 |
| 17番 | 岩村勝弘  | 18番 | 日下君敏 |
| 19番 | 川名正二  | 20番 | 神田守隆 |
| 21番 | 山中金治郎 | 22番 | 榎本春光 |
| 23番 | 石井昌治  | 24番 | 福原勤  |
| 25番 | 飯田義男  |     |      |

1 欠席議員 なし

1 出席説明員

|                   |      |                |      |
|-------------------|------|----------------|------|
| 市長                | 庄司厚  | 助役             | 小幡清之 |
| 収入役               | 永野修  | 企画部長           | 寺嶋清  |
| 総務部長              | 鈴木完二 | 市民福祉部長         | 渡辺富雄 |
| 経済環境部長            | 小沼晃  | 建設部長           | 鈴木信一 |
| 水道課長              | 鈴木基博 | 教育委員会<br>教育委員長 | 伊藤昌彦 |
| 教育委員会<br>教育委員長    | 高橋博夫 | 選挙管理委員会<br>委員長 | 金子光男 |
| 選挙管理委員会<br>事務局書記長 | 大山了一 | 監査委員           | 山田教和 |
| 監査事務局長            | 福田英雄 | 農業委員会<br>委員長   | 斉藤明  |
| 農業委員会<br>事務局長     | 木高松雄 |                |      |

1 出席事務局職員

事務局長 兵藤 恭一  
書記 四ノ宮 朗  
書記 加藤 浩一

事務局長補佐 鈴木 哲  
書記 鈴木 達也  
書記 松浮 郁夏

# 1 議事日程（第5号）

平成9年9月26日午前10時開議

- |       |   |          |  |
|-------|---|----------|--|
| 日程第 1 | { | 議案第47号   | 館山市、富浦町及び三芳村学校給食組合規約の変更に関する協議について  |
|       |   | 議案第48号   | 館山市乳幼児医療費支給条例及び館山市母子家庭・父子家庭等医療費等の助成に関する条例の一部を改正する条例の制定について                 |
|       |   | 議案第49号   | 館山市国民健康保険条例の一部を改正する条例の制定について   |
| 日程第 2 |   | 議案第50号   | 平成9年度館山市一般会計補正予算（第2号）  |
| 日程第 3 |   | 請願第16号   | 「国民の祝日に関する法律」の改正の実現に関する請願書   |
| 日程第 4 | { | 請願第17号   | 「義務教育費国庫負担制度の堅持に関する意見書」採択に関する請願書   |
|       |   | 請願第18号   | 「教育予算の増額に関する意見書」採択に関する請願書  |
|       |   | 請願第19号   | 「いじめ」を克服し、生き生きとした学校づくりのために、教職員配置基準の改善、中学校免許外教科担当解消予算の大幅増、学級編制基準日の改定を求める請願書 |
|       |   | 請願第20号   | 「いじめ」を克服し、生き生きとした学校づくりのために、第6次教職員配置改善計画の早期達成と義務教育費国庫負担堅持を求める請願書            |
| 日程第 5 |   | 継続審査について |  |
| 日程第 6 | { | 認定第 1号   | 平成8年度館山市一般会計歳入歳出決算の認定について  |
|       |   | 認定第 2号   | 平成8年度館山市国民健康保険特別会計歳入歳出決算の認定について  |
|       |   | 認定第 3号   | 平成8年度館山市老人保健特別会計歳入歳出決算の認定について  |
|       |   | 認定第 4号   | 平成8年度館山市ユースホステル特別会計歳入歳出決算の認定について   |
|       |   | 認定第 5号   | 平成8年度館山市学童災害共済事業特別会計歳入歳出決算の認定について  |
|       |   | 認定第 6号   | 平成8年度館山市下水道事業特別会計歳入歳出決算の認定について   |

- |        |          |                                   |
|--------|----------|-----------------------------------|
|        | 認定第 7 号  | 平成 8 年度館山市水道事業特別会計収支決算の認定について     |
|        | 認定第 8 号  | 平成 8 年度館山市国民宿舎事業特別会計収支決算の認定について   |
| 日程第 7  | 議案第 51 号 | 館山市監査委員の選任について                    |
| 日程第 8  | 議案第 52 号 | 館山市教育委員会委員の任命について                 |
| 日程第 9  | 発議案第 4 号 | ごみ処理に係るダイオキシン対策の強化に関する意見書について     |
|        | 発議案第 5 号 | 臍帯血移植の医療保険適用等に関する意見書について          |
|        | 発議案第 6 号 | 富津館山道路の竹岡・岩井勝山間の早期供用開始に関する意見書について |
| 日程第 10 | 発議案第 7 号 | 農業委員会の委員となるべき学識経験者の推薦について         |

開 議 午前 10 時 09 分

◎議長（石井昌治君） 本日の出席議員数25名、これより第3回市議会定例会第5日目の会議を開きます。

#### 議案の配付

◎議長（石井昌治君） 議案を配付いたします。

議案の配付漏れはありませんか。 — 配付漏れなしと認めます。

#### 議長の報告

◎議長（石井昌治君） なお、監査委員から、決算審査意見書中印刷の誤りがあったので、訂正されたいとの申し出がありました。お手元に配付の正誤表により訂正願います。

本日の議事はお手元に配付の日程表により行います。

#### 議案の上程

◎議長（石井昌治君） 日程第1、議案第47号乃至議案第49号の各議案を一括して議題といたします。

#### 文教民生委員会委員長報告

◎議長（石井昌治君） ただいま議題となりました各議案は、9月12日の本会議において文教民生委員会に付託されたものであります。

よって、これより文教民生委員会における審査の概要につき、委員長の報告を求めます。

文教民生委員会委員長宮沢治海君。御登壇願います。

(文教民生委員会委員長宮沢治海君登壇)

◎文教民生委員会委員長(宮沢治海君) ただいま議題となりました議案第47号乃至議案第49号に係る文教民生委員会におきます審査の経過並びに結果について御報告申し上げます。

去る9月12日の本会議におきまして本委員会に付託されました各議案につきまして、18日委員会を招集し、慎重に審査を行いました。

以下、委員会におきます質疑応答等整理いたしまして、その概要を御報告申し上げます。

議案第47号館山市、富浦町及び三芳村学校給食組合理約の変更に関する協議についてであります。幼稚園給食のあり方についての質疑に対し、幼児における食事は親子のつながりや家庭の文化といった側面があり、家庭の配慮は必要と思われる。しかし、幼児期の特徴として自分の嗜好に合ったものだけを選ぶという問題点もあり、集団で同じものを食べるという経験も重要と考えているとの説明がありました。

次に、議案第48号館山市乳幼児医療費支給条例及び館山市母子家庭・父子家庭等医療費等の助成に関する条例の一部を改正する条例の制定についてであります。母子家庭、父子家庭の支給対象見込みや支給見込額等の質疑応答がありました。

次に、議案第49号館山市国民健康保険条例の一部を改正する条例の制定についてであります。出産一時金の額や出生率等の質疑の後、討論において、国保に関しては制度上問題があり、今後いろいろな問題で審議されると思うが、薬価基準など非常に不透明な部分がある。今回の改正により、より以上の住民負担が強いられることになるという観点から、反対であるとの意見がありました。

採決の結果、付託を受けました議案第47号及び議案第48号については全員一致、議案第49号については賛成多数をもっていずれも原案どおり可決すべきものと決しました。

以上、御報告申し上げます。文教民生委員会委員長報告を終わります。

◎議長(石井昌治君) 以上で委員長の報告を終わります。

#### 質 疑 応 答

◎議長(石井昌治君) ただいまの委員長報告について御質疑ありませんか。 — 御質疑なしと認めます。よって、質疑を終わります。

#### 討 論

◎議長(石井昌治君) これより討論を行います。

通告はありませんでした。討論ありませんか。 — 討論なしと認めます。よって、討論を終わります。

## 採 決

◎議長（石井昌治君） これより採決いたします。

採決は分割して行います。

議案第47号及び議案第48号について一括して採決いたします。

各議案についての委員長の報告は原案可決であります。

各議案を委員長の報告どおり可決することに御異議ありませんか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

◎議長（石井昌治君） 御異議なしと認めます。よって、各議案は原案どおり可決されました。

次に、議案第49号館山市国民健康保険条例の一部を改正する条例の制定について起立により採決いたします。

本案についての委員長の報告は原案可決であります。

本案を委員長の報告どおり可決することに賛成の皆さんの起立を求めます。

（賛成者起立）

◎議長（石井昌治君） 起立多数であります。

よって、本案は原案どおり可決されました。

## 議案の上程

◎議長（石井昌治君） 日程第2、議案第50号平成9年度館山市一般会計補正予算（第2号）を議題といたします。

## 総務委員会委員長報告

◎議長（石井昌治君） ただいま議題となりました議案第50号は、9月12日の本会議において総務委員会に付託されたものであります。

よって、これより総務委員会における審査の概要につき、委員長の報告を求めます。

総務委員会委員長神田守隆君。御登壇願います。

（総務委員会委員長神田守隆君登壇）

◎総務委員会委員長（神田守隆君） ただいま議題となりました議案第50号平成9年度館山市一般会計補正予算（第2号）に係る総務委員会における審査の経過並びに結果について御報告申し上げます。

去る9月12日の本会議におきまして本委員会に付託されました本議案につきまして、18日委員会を招集し、審査を行いました。

以下、その質疑応答等、主なものについて申し上げます。

まず、プロ野球館山秋季キャンプ対策事業におけるプレハブハウス賃借料について説明を求めましたところ、設置場所については運動公園と協議することになるが、面積は20坪、食事、ミーティング、更衣室等に使用するもので、去年は仮設テントにより対応したが、周囲から丸見えという状況もあり、プレハブハウスを建設することになったとの説明がありました。

さらに、委員より、サッカー等においても、もしプロないし大学等のチームが長期間にわたって使用する場合には、同じような受け入れ態勢の整備を図ることはできるかとの質疑に対し、現時点では出野尾のグラウンドは附帯設備等不完全な状況にあるが、今後の検討の一材料としたいとの考えが示されました。

次に、MANGA共和国事業化推進調査委託料 500万円についてであります。MANGA共和国に関する事業については、既に一般質問、また議案質疑等において、事業全体の内容、経過等について多方面にわたって論議がされておりますが、本委員会においても本委託料に関連して、土地取得の状況、事業化推進検討委員会の委員の選任について、検討委員会と本調査委託との関係等について質疑がなされました。

なお、委員より、本事業については市民も大変関心を持っているが、中には危惧の念も耳にするので、今後とも実現に向けて努力されたいとの意見。また、実現の可能性は少ないのにもかかわらず、検討委員会を設置したり、また重ねて調査費を計上することには疑問を感じるとの意見。さらに、当初予定したものより規模が大きくなってはいないか。不景気の中で企業の参画が得られるかどうか疑問である等の意見がありました。

次に、東京湾アクアライン完成記念イベント出展に関する費用が計上されておりますが、最近の報道によると、県はイベント関係予算の減額及び入場者の制限をしたとされているので、本事業の効果等に影響が出ないようにされたいとの要望がありました。

次に、園芸農業活性化事業補助金については、イチゴ狩りセンターのトイレの建設費に対する補助である旨説明がされておりますが、当初予算に組むべきではなかったのかとの問いに対し、利用者がふえる中でトイレに対する苦情が多いということから水洗トイレ8基を新設しようとするもので、ことしの6月に話があり、来年の1月に間に合わせたいということから今回補正でお願いしたとの説明がありました。

次に、地方債の変更について質疑がありました。今回の変更については、船形地区に建設予定の公衆トイレについて南欧風トイレの建設を予定していたが、今年度に入り地元から崖の観音の下に駐車場及びトイレ設置の要望があり、南欧風でなくて通常の公衆トイレとし、建設年度10年、今年度は用地造成と変更になった。このため、地域総合整備事業債の要件を欠くことになり、今回取り下げようとするものであるとの説明がありました。



なお、関連して公衆トイレにおける障害者用のトイレについて質疑があり、公衆トイレ16施設のうち4施設あるとの説明がありましたが、海岸におけるトイレについては砂がたまって使用できないこともあると聞くので、管理について配慮されたいとの要望がありました。

以上が主な質疑応答であります。

次に、討論を行い、MANGA共和国関係の調査委託料については、ウェルネス計画との関連づけが甚だ疑問であるとして、反対するとの意見がありました。

採決の結果、付託を受けました議案第50号については賛成多数をもって原案どおり可決すべきものと決しました。

以上、御報告申し上げまして、総務委員会委員長報告を終わります。

◎議長（石井昌治君） 以上で委員長の報告を終わります。

#### 質 疑 応 答

◎議長（石井昌治君） ただいまの委員長報告について御質疑ありませんか。 — 御質疑なしと認めます。よって、質疑を終わります。

#### 討 論

◎議長（石井昌治君） これより討論を行います。

通告はありませんでした。討論ありませんか。 — 討論なしと認めます。よって、討論を終わります。

#### 採 決

◎議長（石井昌治君） これより採決いたします。

採決は起立により行います。

本案についての委員長の報告は原案可決であります。

本案を委員長の報告どおり可決することに賛成の皆さんの起立を求めます。

（賛成者起立）

◎議長（石井昌治君） 起立多数であります。よって、本案は原案どおり可決されました。

#### 請願書の上程

◎議長（石井昌治君） 日程第3、請願第16号「国民の祝日に関する法律」の改正の実現に関する請願書を議題といたします。

### 総務委員会委員長報告

◎議長（石井昌治君） ただいま議題となりました請願第16号は、9月12日の本会議において総務委員会に付託されたものであります。

よって、これより総務委員会における審査の概要につき、委員長の報告を求めます。

総務委員会委員長神田守隆君。御登壇願います。

（総務委員会委員長神田守隆君登壇）

◎総務委員会委員長（神田守隆君） ただいま議題となりました請願第16号「国民の祝日に関する法律」の改正の実現に関する請願書に係る総務委員会における審査の結果について御報告申し上げます。

本請願については、去る9月12日の本会議におきまして本委員会に付託されたもので、18日招集された委員会において審査を行いました。

討論において、日本人は働き過ぎであるとの外国からの批判もある中で、連休をつくってゆっくり休むことは必要と考えるとの賛成意見がありました。

採決の結果、付託を受けました請願第16号については全員一致をもって採択するものと決しました。

以上、御報告申し上げまして、総務委員会委員長報告を終わります。

◎議長（石井昌治君） 以上で委員長の報告を終わります。

### 質 疑 応 答

◎議長（石井昌治君） ただいまの委員長報告について御質疑ありませんか。 — 御質疑なしと認めます。よって、質疑を終わります。

### 討 論

◎議長（石井昌治君） これより討論を行います。

通告はありませんでした。討論はありませんか。 — 討論なしと認めます。よって、討論を終わります。

### 採 決

◎議長（石井昌治君） これより採決いたします。

本請願についての委員長の報告は採択するであります。

本請願を委員長の報告どおり採択することに御異議ありませんか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

◎議長（石井昌治君） 御異議なしと認めます。よって、本請願は採択することに決定いたしました。

#### 日程の追加

◎議長（石井昌治君） ただいま発議案第8号国民の祝日に関する法律改正に関する意見書についてが提出されました。この際、本案を日程に追加し、議題としたいと思います。これに御異議ありませんか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

◎議長（石井昌治君） 異議なしと認めます。よって、本案を日程に追加し、議題とすることに決定しました。

#### 議案の上程

◎議長（石井昌治君） 発議案第8号国民の祝日に関する法律改正に関する意見書についてを議題といたします。

#### 議案の配付

◎議長（石井昌治君） 議案を配付いたします。

（議案配付）

◎議長（石井昌治君） 議案の配付漏れはありませんか。 — 配付漏れなしと認めます。

議案の朗読は省略いたします。

#### 議案の内容説明

◎議長（石井昌治君） 議案の説明を求めます。

神田守隆君。

（20番議員神田守隆君登壇）

◎20番（神田守隆君） ただいま議題となりました発議案第8号国民の祝日に関する法律改正に関する意見書について、提案理由を御説明申し上げます。

本案につきましては、ただいま採択するものと決しました請願書の趣旨を体しまして、国に対し要望いたしたく、7名の賛成者を得まして提案いたしました次第であります。

満場の皆さんの御賛同を賜りますようお願いいたしまして、提案理由の説明といたします。

◎議長（石井昌治君） 説明は終わりました。

### 質 疑 応 答

◎議長（石井昌治君） これより質疑を行います。

御質疑ありませんか。 — 御質疑なしと認めます。よって、質疑を終わります。

### 委員会付託の省略

◎議長（石井昌治君） お諮りいたします。

本案については委員会付託を省略したいと思います。これに御異議ありませんか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

◎議長（石井昌治君） 御異議なしと認めます。よって、決定しました。

### 討 論

◎議長（石井昌治君） これより討論を行います。

討論ありませんか。 — 討論なしと認めます。よって、討論を終わります。

### 採 決

◎議長（石井昌治君） これより採決いたします。

本案を原案どおり可決することに御異議ありませんか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

◎議長（石井昌治君） 御異議なしと認めます。よって、本案は原案どおり可決されました。

### 請願書の上程

◎議長（石井昌治君） 日程第4、請願第17号乃至請願第20号の各請願を一括して議題といたします。

### 文教民生委員会委員長報告

◎議長（石井昌治君） ただいま議題となりました各請願は、9月12日の本会議において文教民生委員会に付託されたものであります。

よって、これより文教民生委員会における審査の概要につき、委員長の報告を求めます。

文教民生委員会委員長宮沢治海君。御登壇願います。

（文教民生委員会委員長宮沢治海君登壇）

◎文教民生委員会委員長（宮沢治海君） ただいま議題となりました請願第17号乃至請願第20号に係る文教民生委員会におきます審査の経過並びに結果について御報告申し上げます。

去る9月12日の本会議におきまして本委員会に付託されました各請願につきまして、18日委員会を招集し、審査を行いました。

採決の結果、付託を受けました請願第17号、請願第18号及び請願第20号については全員一致をもって採択するもの、請願第19号については賛成少数により採択しないものと決しました。

以上、御報告申し上げまして、文教民生委員会委員長報告を終わります。

◎議長（石井昌治君） 以上で委員長の報告を終わります。

#### 質 疑 応 答

◎議長（石井昌治君） ただいまの委員長報告について御質疑ありませんか。 — 御質疑なしと認めます。よって、質疑を終わります。

#### 討 論

◎議長（石井昌治君） これより討論を行います。

通告はありませんでした。討論はありませんか。 — 討論なしと認めます。よって、討論を終わります。

#### 採 決

◎議長（石井昌治君） これより採決いたします。

採決は分割して行います。

まず、請願第17号、請願第18号及び請願第20号について一括して採決いたします。

各請願についての委員長の報告は採択するものであります。

各請願を委員長の報告どおり採択することに御異議ありませんか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

◎議長（石井昌治君） 御異議なしと認めます。よって、各請願は採択することに決定しました。

次に、請願第19号について起立により採決いたします。

本請願についての委員長の報告は採択しないであります。

本請願を委員長の報告どおり採択しないことに賛成の皆さんの起立を求めます。

（賛成者起立）

◎議長（石井昌治君） 起立多数であります。よって、本請願は採択しないことに決定しました。

#### 日程の追加

◎議長（石井昌治君） ただいま発議案第9号教育予算の確保、義務教育費国庫負担制度の堅持

及び第6次教職員配置改善計画の早期達成に関する意見書についてが提出されました。この際、本案を日程に追加し、議題といたしたいと思います。これに御異議ありませんか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

◎議長（石井昌治君） 異議なしと認めます。よって、本案を日程に追加し、議題とすることに決定しました。

#### 議案の上程

◎議長（石井昌治君） 発議案第9号を議題といたします。

#### 議案の配付

◎議長（石井昌治君） 議案を配付いたします。

（議案配付）

◎議長（石井昌治君） 議案の配付漏れはありませんか。 — 配付漏れなしと認めます。

議案の朗読は省略いたします。

#### 議案の内容説明

◎議長（石井昌治君） 議案の説明を求めます。

宮沢治海君。御登壇願います。

（10番議員宮沢治海君登壇）

◎10番（宮沢治海君） ただいま議題となりました発議案第9号教育予算の確保、義務教育費国庫負担制度の堅持及び第6次教職員配置改善計画の早期達成に関する意見書について、提案理由を御説明申し上げます。

本案につきましては、ただいま採択するものと決しました請願書の趣旨を体しまして、関係機関に対し要望いたしたく、7名の賛成者を得まして提案いたしました次第であります。

満場の皆さんの御賛同を賜りますようお願いいたしまして、提案理由の説明といたします。

◎議長（石井昌治君） 説明は終わりました。

#### 質疑応答

◎議長（石井昌治君） これより質疑を行います。

御質疑ありませんか。 — 御質疑なしと認めます。よって、質疑を終わります。

#### 委員会付託の省略

◎議長（石井昌治君） お諮りいたします。

本案については委員会付託を省略したいと思います。これに御異議ありませんか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

◎議長（石井昌治君） 御異議なしと認めます。よって、決定しました。

#### 討 論

◎議長（石井昌治君） これより討論を行います。

討論ありませんか。 — 討論なしと認めます。よって、討論を終わります。

#### 採 決

◎議長（石井昌治君） これより採決いたします。

本案を原案どおり可決することに御異議ありませんか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

◎議長（石井昌治君） 御異議なしと認めます。よって、本案は原案どおり可決されました。

#### 継続審査について

◎議長（石井昌治君） 日程第5、請願の継続審査についてお諮りいたします。

文教民生委員会に付託中の請願第7号稲村城跡保存に関する請願書、請願第15号国民年金等年金制度の改善に関する請願書及び請願第21号「サッカーくじ法案（スポーツ振興投票実施等に関する法律案）をやめ、スポーツ予算の大幅な増額を国に求める意見書提出についての請願書について、委員長から閉会中の継続審査とされたいとの申し出がありました。各請願を継続審査とすることに御異議ありませんか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

◎議長（石井昌治君） 御異議なしと認めます。よって、各請願は継続審査とすることに決定しました。

#### 議長の報告

◎議長（石井昌治君） この際、申し上げます。

常任委員会における陳情審査結果が報告されております。お手元に配付の印刷書により御了承願います。

#### 議案の上程

◎議長（石井昌治君） 日程第6、認定第1号乃至認定第8号、平成8年度各会計決算を一括して議題といたします。

#### 決算審査特別委員会委員長報告

◎議長（石井昌治君） ただいま議題となりました各会計決算は、9月17日の本会議において特別委員会を設置し、付託されたものであります。

よって、これより決算審査特別委員会における審査の概要につき、委員長の報告を求めます。

決算審査特別委員会委員長福原 勤君。御登壇願います。

（決算審査特別委員会委員長福原 勤君登壇）

◎決算審査特別委員会委員長（福原 勤君） ただいま議題となりました認定第1号乃至認定第8号、平成8年度館山市一般会計並びに特別会計決算にかかわる決算審査特別委員会におきます審査の経過並びに結果について御報告申し上げます。

去る9月17日の本会議におきまして本委員会に付託されました各会計決算につきまして、19日委員会を招集し、慎重に審査を行いました。

以下、委員会におきます質疑応答等整理いたしまして、その概要を御報告申し上げます。

まず、一般会計歳出であります。第2款総務費であります。広報ビデオ制作委託料に関する広報ビデオの内容について説明を求めたところ、館山市の自然や文化などを映像や音声を使って広く市を紹介し、市のイメージアップを図る目的で制作した。その用途は、市のプロジェクトにかかわる国、県、企業、あるいは市内公共機関、観光施設等へ配布のほか、一般市民への貸し出しを行っているとの説明がありました。

委員から、ビデオ等によるこうしたことを行っていくことは意欲的で大事なことだと思うので、より一層の工夫をしてその活用を図ってほしいとの要望がありました。

次に、産業振興方策策定委託料について、産業振興策の提言が示されたが、どのように対応していくのかとの質疑に対し、100の提言が示されたわけだが、今後この内容を行政としてどのように受けとめ、生かしていくか、検討を進めている。今後各産業界へ報告内容を示していくことになるが、行政、産業界が協調、協力しながらできるものから進めていくとの説明がありました。

次に、第3款民生費であります。敬老祝金について説明を求めたところ、民生委員の意見等により、年間を通してお年寄りが使えるということで昭和51年度以降品物で支給しているとの説明がありました。

委員から、最近品物については何でも持っている時代であり、本会議でも質問が出たが、共通商品券というのはよい考えであると思う。共通商品券による高齢者と商店街とのつながりもできるし、高齢者福祉と地域の商店街おこしという視点からも敬老祝金を共通商品券にすることは



魅力ある市の施策になるとの意見がありました。

次に、高齢者配食サービス事業に関する委託料について説明を求めたところ、高齢者等の配食サービスについては館山市社会福祉協議会に委託している。業者の選定に当たっては、栄養士がいるということ、高齢者向けの食事がつくれるということ、食器類の消毒が完全に行われているということ等の条件を比較検討して館山市社会福祉協議会が決定したとの説明がありました。

また、老人保健特別会計繰出金及び生活保護費の扶助費の不用額について説明を求めたところ、いずれも長期療養者や高額医療にかかった者の減少が考えられるなど、医療費の伸びが少なかったためであるとの説明がありました。

次に、第4款衛生費であります、合併浄化槽設置事業補助金に関し、設置基数及び設置後の効果測定について説明を求めたところ、平成8年度は全体で99基の設置を行い、現在までの補助基数は昭和62年度から通算して467基となっている。効果測定については、62年に設置したモデル浄化槽の水質検査を毎年実施しており、非常に効果があるとの説明がありました。

さらに、浄化槽の放流先の同意について質問したところ、浄化槽の放流先について建築確認申請の際に放流同意書添付を一律に求めることは、昭和63年の通達により行っていない。しかし、道路法、河川法、土地改良法等による協議が必要となるもの、または設置後のトラブル防止という意味で、水利権者等との協議を要すると思われるものに対しては協議が必要と思われる旨の意見書を県に進達しているとの説明がありました。

次に、第5款労働費であります、勤労者団体補助金について支出先及び内容について説明を求めたところ、支出先については千教組安房支部、全通安房支部、全電通館山部会など32団体で組織されている安房地区労働者協議会である。本協議会は、勤労者の健全な組合活動を推進する組織であり、内容としては、学習会、スポーツ活動、文化サークル活動に対する補助をしたとの説明がありました。

次に、第6款農林水産業費であります、農村青年グループ育成事業補助金及び農業企画研究会育成事業補助金の支出に対し、活動の内容等について説明を求めたところ、農村青年グループ育成事業については館山4Hクラブであり、その主要事業は技術の情報交換及び研修会、農政懇談会、青年農業者会議等への参加である。農業企画研究会については、市内在住の40歳未満の専業農業者により水田農業確立対策及び後継者問題等の農村社会の抱える問題を研究しているとの説明がありました。

また、農道整備事業負担金について実施場所等の質疑の後、委員から、農道整備事業については基盤整備をするところに偏りがちであるように思えるが、山間部等に対して考えてほしいとの要望がありました。

次に、農地紛争仲介あっせん員報償金について、その内容と成果をただしたところ、平成8年

度は5件の案件があり、内容は排水関係、あるいは隣地との境界関係であり、いずれも円満解決しているとの説明がありました。

次に、漁業協同組合合併促進事業補助金について、組合合併の現況に対する説明を求めたところ、市内に5つの漁業協同組合があり、いずれの組合も合併についての賛同は得ているが、その中の1組合について組織体制が整っていないため、現在県等の指導を受けながら準備を進めている段階であるとの説明がありました。

次に、第7款商工費であります。観光費に関して海水浴場の開設を少し早めることはできないかとの問いに対し、本年度はオープンウォータースイムレースが開催され、来年度も同日の開催が予定されていることから、その準備等のため、監視員の管理、配置ができず、開設を早めることは困難であるとの説明がありました。

さらに、東京湾アクアラインの開通が間近になっているが、首都圏からの時間の短縮により本市が通過点となることも懸念されるので、観光客が宿泊するような観光の核となる施設を検討し、市の活性化につなげてほしいとの要望がありました。

次に、第8款土木費であります。館山港修築工事負担金の工事内容について説明を求めましたところ、マイナス5.5メートルの耐震岸壁を施工しているとの説明がありましたが、さらに港の利用の中で残土の搬入の割合はどうかとの質問に対し、鉱物の搬入は約45万トンであるが、残土の量としては特定されていないとの説明がありました。

委員より、館山港は残土の専用的な使用とも思われるし、残土は本市の環境の問題の引き金となる可能性もあるので、修築工事の負担をしている以上、県に対し港の利用のあり方について要望することも必要ではないかとの意見がありました。

次に、第10款教育費であります。戦争史跡が文化財として指定要件を満たすことができるようになったが、文化財審議会において市内の戦時中の資料等を調査していく考えはあるかとの質問に対し、今年度から審議委員が調査をする予定で準備を進めているとの説明がありました。

次に、歳入であります。N T T株取得問題については、既に今日まで本会議並びに委員会等でたび重なる質問がされているところでありますが、本決算中繰越金及び財政調整基金においてN T T株取得に係る額を現金の亡失として減額更正し、さらに諸収入においてN T T株売却額を収入していることから、次のような質疑がなされました。

まず、市長の監査結果を無視して賠償命令を出すことは法律上可能かどうかとの問いに対し、自治法第243条の2の規定により監査請求が出された場合、市長はその監査結果に基づくものとされており、従う必要があるとの答弁がありました。

次に、2人の元収入役が退職後内緒にしてほしい旨の依頼をしたことは、一民間人が虚偽公文書作成の違法行為を促すという不法行為責任があるのではないかとの指摘に対し、株を購

入するために公金を支出した時点で全損害額が発生しており、これは法 243条の2の規定そのものであり、よって第9項の規定により民法の適用は排除されると認識しているとの説明がありました。

次に、長い間発見できなかった原因は何かとの問いに対し、例月出納検査のときに提出される金融機関別預金残高総括表の中の現先の欄に記載されていた。現在の監査方法の強化として、現金であれば預金残高表、証券会社関係であれば残高証明書等あわせてチェックしているとの説明がありました。

次に、本決算において現金の亡失による減額更正及び売却による収入等の措置を行っているのであれば、この際寄附を受けた土地、建物等についても早目に競売していくべきであるとの意見がありました。

次に、国民健康保険特別会計であります。医療機関の不法請求が報道されているが、市におけるレセプトの点検について説明を求めたところ、国民健康保険、老人保健会計でそれぞれ1人ずつレセプト点検の職員を雇い上げており、請求誤りで返還を求めたものは、8年度約3,300万円であるとの説明がありました。さらに、点検体制の強化を図るよう要望いたしました。

次に、討論を行いました。NTT株購入問題について、債務免除条例は犯罪行為には適用がなく、株購入の行為及びその後の保有に関する行為は犯罪行為であり、適用は排除されるべきだ。そのことを主張すべきであったし、当時者が異議を唱えれば裁判で決着をつけるべきだ。今回のこの問題に対する市の措置については納得できないとして、一般会計決算の認定に反対するとの意見がありました。

以上が質疑応答等の概要であります。

採決の結果、付託を受けました認定第1号については賛成多数をもって、認定第2号乃至認定第8号の各特別会計決算については、全員一致をもってそれぞれ認定すべきものと決しました。

以上、本特別委員会における審査の概要につきまして御報告申し上げまして、決算審査特別委員会委員長報告を終わります。

◎議長（石井昌治君） 以上で委員長の報告を終わります。

#### 質 疑 応 答

◎議長（石井昌治君） ただいまの委員長の報告について御質疑ありませんか。――御質疑なしと認めます。よって、質疑を終わります。

#### 討 論

◎議長（石井昌治君） これより討論を行います。

通告がありますので、発言を許します。

1 番議員辻田 実君。御登壇願います。

(1 番議員辻田 実君登壇)

◎1 番(辻田 実君) 認定第1号平成8年度館山市一般会計歳入歳出決算の認定について、4項目にわたりまして御意見を申し上げたいと思います。先日も質疑の際に申し上げましたが、私の意見は市民の意見をまとめたもので、会派を代表するものでないことを改めて御了解願いたいと思います。

第1は、N T T株取得による損失を8年度決算で処理を行ったことについて御意見を申し上げたいと思います。1、市民は、真相と責任をあいまいにして損失を市民の負担に転嫁することのないようにという強い希望を持っております。しかし、市長はN T T株を購入した収入役に賠償の責任があるとしながら、恩赦条例により請求を放棄していることは許せません。賠償の責任を問うことができなければ、上司である市長、助役が責任をとることが世間一般の常識であるからでございます。

2、市は事件の発覚以来、元収入役と株問題について相談をしてないこと。また、欠損金の補てんについても話し合っておらず、刑事告発に際しても一方的に行っていることでございます。たとえどのような事情があっても、現実には3億7,550万円の穴が予算にあいてるわけでございます。当事者が集まり、どのようにしてその穴を埋めるかを話し合うことが当然であったと思うのでございます。このこともできていない。しかも、市長と収入役という間柄においてこれである、職員との信頼と責任がどうなっておるのか、それ恐ろしいものを感じられるからでございます。

3、先日の議案審議の際に質問しましたが、決算書では株の購入資金を亡失として繰越金から落としております。県と連絡をとり処理したとのことでございますが、会計学から見て間違いでございます。元収入役からの返済金も寄附金に入れたことは不適切であると思います。それは昨年8月28日に監査結果を市長は新聞記者に、元収入役は自分の利益を図る目的があれば問題だが、市政のために少しでも助けになるとしてしたこと、犯罪には当たらないと述べ、自発的な返済を促すと述べられている点からも大きな矛盾をしているからでございます。

4、また市長が刑事告発をした元収入役は、10カ月も経過しておりますが、いまだに警察からの呼び出しを受けておらないということが言われております。異常なことだと思います。また、市民団体の代表から市長と3名の元収入役が損害賠償の民事告発を受け、公判が2回も開かれているそうでございます。裁判の結果が明らかになってない中で、今度の処理は適切でないと思います。裁判によりその真相と補償の問題がはっきりと出てから市民の納得いく判断を下すべきでございます。それほど大きな問題だと思われるからでございます。

5、上司はどんな事情があっても自己の責任をとるべきだと思います。これは一般的な常識であると私は思うのでございます。上司が責任を回避するようなことがあっては、部下の信頼も、働く意欲も失われます。私は、結果がどうあっても市の公金に穴があいたのであるから、市長の責任でどのような方法であっても市民の負担でなく、当事者間で埋めていただきたいことを強く要望するものでございます。このことは非常に厳しいことと存じますが、この試練を克服してこそ市長の信頼と尊敬が市民から生まれ、市政の発展につながると思うからでございます。

2番目の項目に移ります。平成8年度の決算では7億円の形式収支の黒字を出しております。このことは結構なことだと思います。また、同時に173億円の起債残高を出し、予算額159億円を大きく上回り、公債比率、経常収支比率においても昨年より悪くなっております。また、実質単年度収支では3億5,000万円の赤字を出しておりますことは非常に残念だと思うのでございます。このように8年度決算は大きな赤字市政、借金市政を増長させたと言って過言でないと思うのでございます。こうした面におきまして、この借金財政、赤字財政の克服のために、いま一步の努力をしていただきたいことを要望する次第でございます。

第3の意見は、JR駅舎の改築設計費の繰り越しについてでございます。館山駅橋上駅舎等建設詳細設計の予算につきましては8年度予算に計上され、そして9年度と10年度にわたりまして工事費を計上し、そして10年度には完成するという予定でございます。この方向で進み、市長は日ごろからいろいろな場所において順調に市政は推進しておるということを申し述べられております。まさに私は順調だと思っておりました。しかしながら、今日8年度予算がさきの3月議会において繰越明許され、そして6月議会後には実施設計のための臨時議会を開きたいということをお願いされ、そしてそれがだめになり、8月の末には全員協議会において、今年度の末にはJRとの交渉を煮詰めて何とか臨時議会を開いて詳細設計の承認をいただきたい。承認いただければ、同時に工事請負費の予算計上をお願いし、少なくとも平成10年度内には一部開通にもこぎつけて市民の納得を得たいという申し出がございました。しかしながら、今日に至ってもまだその見通しがついておらないようでございます。そして、館山駅の正面には以前から平成10年度完成というすばらしい大きな看板が立っておりまして、市民は全幅の信頼をして期待をしているわけでございますけれども、今日の状況では私はままならないというふうに思うのでございます。私は、どんな事情があってもやはり繰越明許にするということは余りよくないというふうに思うのでございます。今回このように2度、3度にわたりまして実施設計ができないと、議会の承認を得るための議会の提案ができないということは、私は大変な問題だろうと思います。深刻な問題だと思います。そして、その点について市長がそのように言っておりますので、はい、結構でございますと議員の一人としてこれをうのみにするわけにはまいりません。私は、あえて申し上げたいわけでございますけれども、このように繰越明許にしていまだに設計の調整がJRとの

間にできておらないということは大変な事態であることを認識してもらいたい。そして、議会において一議員からこうした状況について厳しい批判、反対の意見があったということを肝に銘じてJR本社と交渉いたしまして、そして何とか設計の合意を見て一日も早く着手に運ばなければ、到底平成10年度には実現は見られないわけでごしまして、ここで私はあえて苦言を申し述べておきたいことは、このような状況でもって議会も、はい、そうですかということでもって延び延びしておった結果、平成10年度に駅ができなかったら市民と市の間に大変な問題が起きるということ、そして議会は何をしてるんだと議員自身も問われる結果を招くわけでごしますので、こうした点を十分に認識してこのことに当たっていただきたい。このことを私は要望する次第でございます。

4番目には、先ほど決算委員長からの報告がございました。私は、項目別事項につきまして詳細な検討がなされたことにつきましては、決算委員会の皆さんにその御苦勞を多とするところでご致します。そして、本当に立派な審議ができたということでもって私も敬意を表するところでご致します。しかしながら、NTT株の処分の問題については若干意見が違ふことを申し述べておきたいわけでご致します。この問題は、何といたってもいろいろ問題があるけれども、市民が納得する、また市民が妥協する許容点を超えた状況にご致しますので、私はあえてこの予算については反対を表明するものでございます。

（「決算」と呼ぶ者あり）

◎1番（辻田 実君） 決算について反対を表明するものでございます。決算はたとえ否決されてもその予算運営、財政運営については何らも支障がございせん。しかしながら、私はあえて議員として以上申し上げました4項目のことを強調いたしまして、本当に大変でございますけれども、私は反対を唱えて、そして議員の中にもこの件について反対する議員もいるんだということを明らかにしたいわけでご致します。

そうした意味におきましては、以上4項目の御意見を申し上げ、そして結論としては平成8年度一般会計歳入歳出決算につきましては反対をいたしますことを明らかにいたしまして、私の討論を終わりたいと思います。

◎議長（石井昌治君） 以上で辻田 実君の討論を終わります。

次に、3番議員三上英男君。御登壇願います。

（3番議員三上英男君登壇）

◎3番（三上英男君） 認定第1号平成8年度館山市一般会計歳入歳出決算の認定について、反対の意見を述べさせていただきます。

決算書中、NTT株の損失が亡失によって処理されていますが、これは地方自治法第9章、財務に関する規定に違反しているところがあると思われます。また、この損失は本来欠損金として

処理すべきであると思うのであります。株の購入金は亡失で、売却金は収入というのは、経理上問題があるのではないのでしょうか。しかし、どんなにうまく処理をしても、約2億5,000万の金は市民の血税から消えてしまうのであります。市長は、この損失について市民に新たな負担を求め、事の重大性を訴えるべきであったと思うのであります。市民から疑惑の目で見られ、市の信用を失墜させたこの事件を隠ぺいするかのように処理し、処分しようとしていることに対し、新たな憤りを感じずるものであります。よって、この決算は認定できません。

以上です。

◎議長（石井昌治君） 以上で三上英男君の討論を終わります。

次に、6番議員鈴木順子さん。御登壇願います。

（6番議員鈴木順子君登壇）

◎6番（鈴木順子君） 認定第1号平成8年度館山市一般会計歳入歳出決算の認定につきまして反対の討論をいたします。

N T T株の損失の取り扱いにつきましては、この間市民から一般企業だったらこんな結果ではとても済まないということを私どもはよく聞かされてまいりました。自治体の会計と企業会計とは現時点では基本的に違いがあるということはよく自治体の答弁などでも言われることですが、このことが正しいか正しくないのかは別問題といたしまして、私は非常に会計の取り扱いに対しての不明確な難しい部分があるのではないかというふうに思っております。私は、だれが考えてもおかしいと言われることのないようなすっきりとした開けた制度にしていかなければいけないのではないかというふうにも考えています。しかしながら、今回の決算の認定につきましては、市民にとって青天のへきれきと言わざるを得ないような事件の処理方法としては到底納得のできるものではありません。

過日決算質疑を私がした折に、2人の元収入役からの寄附の取り扱いについて2人の元収入役は寄附というつもりではなく、弁済の一部としてという申し出があったと総務部長より答弁がございました。ならば、2人の元収入役の思いとは違った形で市が受けたわけです。寄附の項目にすんなりとそれを記載することは非常におかしいのではないかというふうに思います。さらに、昨年11月、館山市が川上元収入役1人を刑事告発をいたしました。こういう経緯もございます。事のてんまつを見ないうちに、たとえ弁済の一部としてという意識だとしても、これで許してくれと言わんばかりの態度ではないかというふうに私は思います。それを市が、言葉は非常にきつい言葉ですが、手心を加えらるゝとれるやり方。これは一般市民からよく言われます。このことについては、市民感情として市民に対して非常に無責任ではないかというふうに思っております。今回のN T T株の損失の取り扱いについては市民に穴埋めを求めるものであり、到底納得のできるものではないということをここで申し上げ、反対の意見といたしたいと思います。

以上です。

◎議長（石井昌治君） 以上で鈴木順子さんの討論を終わります。

以上で通告者による討論を終わりますが、通告をしない議員で討論はありませんか。 — 討論なしと認めます。よって、討論を終わります。

#### 採 決

◎議長（石井昌治君） これより採決いたします。

採決は分割して行います。

まず、認定第1号一般会計決算について、起立により採決いたします。

本決算についての委員長の報告は認定であります。

本決算を委員長の報告どおり認定することに賛成の皆さんの起立を求めます。

（賛成者起立）

◎議長（石井昌治君） 起立多数であります。よって、本決算は認定することに決定しました。

次に、認定第2号乃至認定第8号の各会計決算について一括して採決いたします。

各会計決算についての委員長報告は認定であります。

各会計決算を認定することに御異議ありませんか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

◎議長（石井昌治君） 御異議なしと認めます。よって、各会計決算は認定することに決定しました。

#### 議案の上程

◎議長（石井昌治君） 日程第7、議案第51号館山市監査委員の選任についてを議題といたします。

議案の朗読を願います。

（書記朗読）

◎議長（石井昌治君） 朗読は終わりました。

#### 議案の内容説明

◎議長（石井昌治君） 議案の説明を求めます。

庄司市長。

（市長庄司 厚君登壇）

◎市長（庄司 厚君） 議案第51号館山市監査委員の選任について、提案理由を御説明申し上げます。



ます。

館山市監査委員中、識見を有する者から選任をいたします委員の山田教和さんが平成9年10月1日をもって任期が満了いたしますが、引き続き山田教和さんを適任と考え、選任いたしたいと存じます。御賛同を賜りますようお願い申し上げます。

以上でございます。

◎議長（石井昌治君） 説明は終わりました。

#### 質 疑 応 答

◎議長（石井昌治君） これより質疑を行います。

御質疑ありませんか。

6番議員。

◎6番（鈴木順子君） 済みません。二、三ちょっとお聞きをしたいことがあります。まずここに提案をされるわけですからそういうことはないと思いますが、確認の意味でひとつお聞きしておきたいのは、監査というお仕事は非常に重い仕事なわけなんです。監査をされる方が例えば市の補助を受けたり、助成を受けたりなどしているような団体、そういった団体の代表者であるとか、そういうことの規約の辺はどういうふうになってるのか、これは大丈夫、クリアしてるのかどうかを確認したいということが1点、

あともう一つは、私昨年来一般質問の中でもお聞きをしてきておりますが、専門家における監査体制ということをやっているとずっと言ってきております。それで、私できればこの際いい機会なので、専門家をここに配置してみたらいかかというふうに思っておりますが、その辺の考えはどうか、これを2つお聞かせを願えればというふうに思いますが。

◎議長（石井昌治君） 庄司市長。

◎市長（庄司 厚君） 御推薦申し上げました委員候補につきましては、人柄が清廉潔白、そして公正な価値判断のできる立派な識見を持つ方でございまして、市とのそのほかの関係は一切ございません。

第2点目につきましては法令の関係でございますので、総務部長から答弁させます。

◎議長（石井昌治君） 総務部長。

◎総務部長（鈴木完二君） まず、第1点目の欠格関係でございますけれども、市との請負関係は禁止されておりますが、その他については禁止されてはおりません。

それから、第2点目の専門家の導入と申しましうか、それにつきましてはことし6月4日に外部監査制度が導入されておまして、その中で新しい制度として外部監査制度が導入されました。ただ、この制度につきましては法律に定められておりますとおり、法施行から1年6月の間

で政令で定める日から施行するということでございます。それで、まだその政令出されておられません。内容が詳細にわかっておりませんので、その政令の施行を待ちましての検討ということになろうかと思えます。

追加で御説明申し上げますが、この外部監査制度につきましては、義務づけ — 包括外部監査とそれから個別外部監査に分かれるわけでございますが、その包括の監査につきましては都道府県、それから政令で定める市について義務づけがなされております。これにつきましては、政令で定める市といいますのは25万人以上の市ということでございまして、それ以外の市町村につきましては条例で設置することができるという規定になっております。これで都道府県と政令で定める市についての義務づけでございますけれども、これにつきましては平成11年4月1日には設置しなければいけないということでございます。したがって、今お話しいたしましたように、ことしの6月に法律が公布されておまして、政令ができます、公布されますのがいつかはわかりませんが、1年6月と申しますと来年の12月、それから準備期間等がございまして、平成11年度に義務づけになっております都道府県、政令で定める市、これがスタートするわけでございます。したがって、一般市町村につきましてはそれ以降の問題になろうかというふうに考えております。

以上でございます。

◎議長（石井昌治君） 他に質疑ありませんか。 — 御質疑なしと認めます。よって、質疑を終わります。

#### 委員会付託の省略

◎議長（石井昌治君） お諮りいたします。

本案については委員会付託を省略したいと思います。これに御異議ありませんか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

◎議長（石井昌治君） 御異議なしと認めます。よって、決定しました。

#### 討 論

◎議長（石井昌治君） これより討論を行います。

討論ありませんか。

神田守隆君。

◎20番（神田守隆君） この選任の同意案件ですけれども、同意できないということで反対の討論をいたします。

山田監査委員が代表監査委員としてN T T株購入にかかわる監査結果をされたわけであります

が、これは非常に大きなこの監査結果については問題点があり、承服できないからであります。債務免除条例は犯罪行為には適用にならないというふうに法律上も明らかになっているわけですが、N T T株の購入及びその後の8年間にわたる保管行為は虚偽公文書作成の犯罪によってなされてきたものであり、債務免除条例の適用は排除されるべきであったと考えられます。したがって、監査報告の内容については承服できない重大な誤りがあったのではないかと考えられるわけであります。したがって、この監査委員の制度上なかなかいろいろと制約もあり、十分できなかったということもあろうかと思いますが、今回市長が人格識見という点で改めて再任ということを求めたわけでありますが、こういう過去の経緯に照らしてみるときにはこの際私は同意できないということであります。

◎議長（石井昌治君） 6番議員。

◎6番（鈴木順子君） 本日提案されました議案第51号監査委員の選任についてなんですが、私は反対をいたしたいと思います。

市長から提案がございましたように、今まで代表監査を務めてこられました方本当におっしゃるとおり立派な方であるということは、私もそのとおりだというふうに認識をしております。したがって、山田氏がどうのこうのということは余り意見はありませんが、ただN T T株の関連でのやはり長い間苦勞されてこられて、非常に私は見ていて気の毒だなというふうに思っております。やはりああいうところはプロの方をお願いした方がいいなというふうに思っております。さっき質疑の方で、私は前向きに館山市はこれから考えていくんだなというふうには認識をいたしました、それにしても非常に重い事件であるというふうに思っておりますので、そういったことを経験された方に再度また苦勞をかけさせるということは、私としてはしのびないというふうに思っております。したがって、山田氏はせっかく市長の方から提案がございましたが、私の気持ちとしては同意をしかねるというふうに表明をいたしたいというふうに思います。

以上です。

◎議長（石井昌治君） 他に討論ありますか。 — 討論なしと認めます。よって、討論を終わります。

#### 採 決

◎議長（石井昌治君） これより採決いたします。

採決は起立により行います。

本案については同意することに賛成の皆さんの起立を求めます。

（賛成者起立）

◎議長（石井昌治君） 起立多数であります。よって、本案は同意することに決定しました。

#### 議案の上程

◎議長（石井昌治君） 日程第8、議案第52号館山市教育委員会委員の任命についてを議題といたします。

議案の朗読を願います。

（書記朗読）

◎議長（石井昌治君） 朗読は終わりました。

#### 議案の内容説明

◎議長（石井昌治君） 議案の説明を求めます。

庄司市長。

（市長庄司 厚君登壇）

◎市長（庄司 厚君） 議案第52号館山市教育委員会委員の任命について、提案理由を御説明申し上げます。

館山市教育委員会委員中、藤田尚正さんが平成9年9月30日をもって任期が満了いたしますが、引き続き藤田尚正さんを適任と考え、任命いたしたいと存じます。御賛同を賜りますようお願い申し上げます。

以上です。

◎議長（石井昌治君） 説明は終わりました。

#### 質疑応答

◎議長（石井昌治君） これより質疑を行います。

御質疑ありませんか。――御質疑なしと認めます。よって、質疑を終わります。

#### 委員会付託の省略

◎議長（石井昌治君） お諮りいたします。

本案については委員会の付託を省略したいと思います。これに御異議ありませんか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

◎議長（石井昌治君） 御異議なしと認めます。よって、決定しました。

#### 討 論

◎議長（石井昌治君） これより討論を行います。

討論はありませんか。 — 討論なしと認めます。よって、討論を終わります。

#### 採 決

◎議長（石井昌治君） これより採決いたします。

本案については同意することに御異議ありませんか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

◎議長（石井昌治君） 御異議なしと認めます。よって、本案は同意することに決定しました。

#### 議案の上程

◎議長（石井昌治君） 日程第9、発議案第4号乃至発議案第6号の各議案を一括して議題といたします。

議案の朗読は省略いたします。

#### 議案の内容説明

◎議長（石井昌治君） 議案の説明を求めます。

辻田 実君。

（1番議員辻田 実君登壇）

◎1番（辻田 実君） 発議案第4号乃至第6号の意見書案3件について、提案理由を御説明申し上げます。

ダイオキシン問題、臍帯血問題、富津館山道路問題について、議会として意見書を提出してはどうかとの意見があり、議会運営委員会において検討いたしました結果、全委員の賛成を得まして、お手元に配付のとおり意見書案を提出した次第でございます。内容につきましては記載のとおりでありますので、御了承願います。

御賛同を賜りますようお願いいたしまして、提案理由の説明といたします。

◎議長（石井昌治君） 説明は終わりました。

#### 質 疑 応 答

◎議長（石井昌治君） これより質疑を行います。

御質疑ありませんか。 — 御質疑なしと認めます。よって、質疑を終わります。

#### 委員会付託の省略

◎議長（石井昌治君） お諮りいたします。

各議案については委員会付託を省略したいと思います。これに御異議ありませんか。

(「異議なし」と呼ぶ者あり)

◎議長(石井昌治君) 御異議なしと認めます。よって、決定しました。

#### 討 論

◎議長(石井昌治君) これより討論を行います。

討論ありませんか。— 討論なしと認めます。よって、討論を終わります。

#### 採 決

◎議長(石井昌治君) これより採決いたします。

採決は一括して行います。

各議案を原案どおり可決することに御異議ありませんか。

(「異議なし」と呼ぶ者あり)

◎議長(石井昌治君) 御異議なしと認めます。よって、各議案は原案どおり可決されました。

#### 議案の上程

◎議長(石井昌治君) 日程第10、発議案第7号農業委員会の委員となるべき学識経験者の推薦についてを議題といたします。

本案は、地方自治法第117条の規定により、増田基彦君の一身上の事件でありますので、退席を求めます。

(8番議員増田基彦君退場)

◎議長(石井昌治君) 議案の朗読は省略いたします。

#### 議案の内容説明

◎議長(石井昌治君) 議案の説明を求めます。

辻田 実君。

(1番議員辻田 実君登壇)

◎1番(辻田 実君) 発議案第7号農業委員会の委員となるべき学識経験者の推薦について御説明申し上げます。

議会から推薦された農業委員1名が辞任したことに伴い、その後任として増田基彦議員が適任と認め、推薦いたしたく本案を提出した次第でございます。皆様の御賛同をお願いいたしますよう御提案いたす次第でございます。

◎議長（石井昌治君） 説明は終わりました。

#### 質 疑 応 答

◎議長（石井昌治君） これより質疑を行います。

御質疑ありませんか。 — 御質疑なしと認めます。よって、質疑を終わります。

#### 委員会付託の省略

◎議長（石井昌治君） お諮りいたします。

本案については委員会の付託を省略したいと思います。これに御異議ありませんか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

◎議長（石井昌治君） 御異議なしと認めます。よって、決定いたしました。

#### 討 論

◎議長（石井昌治君） これより討論を行います。

討論はありませんか。 — 討論なしと認めます。よって、討論を終わります。

#### 採 決

◎議長（石井昌治君） これより採決いたします。

本案を原案どおり可決することに御異議ありませんか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

◎議長（石井昌治君） 御異議なしと認めます。よって、本案は原案どおり可決されました。

（8 番議員増田基彦君入場）

#### 閉 会 午前 11 時 39 分

◎議長（石井昌治君） 以上で本定例会に付議されました案件は議了いたしました。

よって、これにて第 3 回市議会定例会を閉会いたします。

#### ◎本日の会議に付した事件

- 1 議案第 47 号乃至議案第 52 号
- 1 認定第 1 号乃至認定第 8 号
- 1 請願第 16 号乃至請願第 20 号
- 1 継続審査について（請願第 7 号、請願第 15 号、請願第 21 号）

1 発議案第4号乃至発議案第7号

1 日程の追加・発議案第8号及び発議案第9号

地方自治法第123条第2項の規定により署名する。

館山市議会議長

館山市議会議員

館山市議会議員





